

コロナ禍での “介護崩壊”を許さない!

介護保険を抜本的に改正して
高齢者が安心して介護を
受けられるように



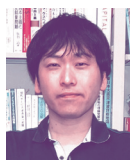
日時

2020年10月25日(日)
13時半から16時

内容

●記念講演

制度発足20年の現実から介護保険を問い直す
—コロナ禍から安全・安心の介護保障を考える—



講師：井口 克郎 神戸大学大学院准教授

いのくちかつろう

神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。金沢大学大学院人間社会環境研究科修了。博士(経済学)。専門は社会保障論。著書に『社会保障レボリューション いのちの砦・社会保障裁判』(共著、高菅出版、2017年)など。

●現場からの訴え ●参加者の発言 ●集会宣言採択と行動提起

参加登録は
こちらから

ZoomウェビナーとYouTubeでの視聴が可能です。発言希望の方はZoomウェビナーへの登録をお願いします。(登録開始9月1日)

Zoom



YouTube



主催 2020年全国介護学習交流集会実行委員会

中央社保協、全日本民医連、全労連、建交労、生協労連、全労連・全国一般、福祉保育労、日本医労連、自治労連、東京地評、ホームヘルパー全国連絡会

介護従事者も利用者も家族も

コロナに負けない、安全・安心の介護を

なんとか
しよう

人手
不足

給料
低すぎ

感染症
対策

経営難



介護保険制度が発足して20年、「保険あって介護なし」の事態が広がっています。介護事業所の経営難、介護現場の人手不足は、更に深刻さを増しています。また介護従事者の給与が全産業平均よりも月額9万円も低い実態は依然として改善されていません。

新型コロナウイルス感染症は、そうした介護現場を直撃しています。地域の事業所が経営困難に陥り“介護崩壊”ともいえる事態が起こっています。コロナ禍でも「介護の社会化」にふさわしく、安全・安心の介護保障を実現していくために、介護保険制度の抜本改正が必要です。

2021年4月の介護報酬改定にむけて、感染症対策の強化とともに、介護従事者の専門性を守り、利用者のサービス切り下げ・負担増をSTOPさせ、基本報酬の底上げを実現するため、運動を大きく広げましょう。



署名にご協力ください

介護保険の抜本改善をめざす署名に取り組んでいます。ご協力をお願いします。

